

第26回 愛恵エッセイ 受賞作品発表

豊かな福祉社会を創るために

— 戦後80年になるんだって!? —

2024年度開催「第26回愛恵エッセイ」募集に多くの作品をお寄せ頂き誠にありがとうございました。

厳正なる審査の結果、以下の作品が入賞されましたことをご報告いたします。

(敬称略)

一般の部

最優秀賞	「戦争中、障がい者たちは何処にいたのかな」	小迫 孝乃
優秀賞	永遠のワン・チーム	本田 美徳
優秀賞	~明日の社会を作るために~ 社会の「ツケ」の残さないという使命	小林 博子
優秀賞	想いは国を越えて	シロアムの池
佳作	広島 1945年→2024年	新井 のぞみ
佳作	「共生の未来へ-戦後80年が問いかける福祉の在り方」	中谷 愛

専門職の部

最優秀賞	“ひめゆり学徒隊のおにぎりによせて	渡辺 陽菜
優秀賞	記憶の重さを支えて —福祉が創る豊かな社会への道—	渡部 亜紀
佳作	社会の余白としての居場所 ~多様な人が挑戦できる社会へ~	斎藤 彰太
佳作	再登校の引っかかり	大内 雅登

学生の部

最優秀賞	無力な私にできること	佐藤 ひより
優 秀 賞	「社会的弱者」から「多様性」へ	山田 桜來
佳 作	思いやりに溢れる世界になりますように	丸山 咲穂
佳 作	だれかのひとかけらに	大内 理智
佳 作	私と平和と生きること	藤原 美聖
佳 作	これからの福祉の未来はどうか	高野 可未由
奨 励 賞	聴覚障害を持っている人にとって大切なもの	安達 優花

外国籍の部

最優秀賞	戦争から未来へ、国境を越える福祉の教訓 WILLIAM JONATHAN SCHWARZ	
優 秀 賞	介護福祉士の共通の願い	李 建宇
佳 作	福祉社会は互いに対する尊重から始まる	朴 世振

以上